

ふるさと益田の応援団

35

2021年12月20日(月)会報35

|近畿益田会
KINKI-MASUDAKAI

創立35周年記念

近畿益田会会報

特集1 益田市のあゆみと近畿益田会の35年

特集2 「近畿で活躍する益田人たち」



KINKI-MASUDAKAI

目 次

目 次	1
益田会会长挨拶	2
益田市長挨拶	3
議長 / 商工会議所会頭挨拶	5
益田市のあゆみと近畿益田会	6
近畿で活躍する益田人たち	11
元気にしてます / 近況だより	14
姉妹都市・友好都市	19
TOPICS / 近畿益田会ニュース	22
ハイキング部	23
ゴルフ部	25
美味しいもの会案内	26
益田の魅力発見	27
年間スケジュール	29
益田会役員名簿	30
益田会会員名簿	31
益田市歌 / 編集後記	34



表紙写真 日本遺産 中須東原遺跡の整備イメージ

砂州の南側から発見された中須東原遺跡は、そのような港町の遺跡の代表例です。

旧河道に沿って石が敷き詰められた荷揚げ場跡の内側に、鍛冶場をはじめとする町場が建ち並ぶ様子が発掘成果から浮かび上りました。

近畿益田会会长挨拶

近畿益田会は35周年を迎え、記念誌を発行することとなりました。ひとえに、会員みなさま、益田市の関係方々、そして35年近畿益田会を無事に運営して頂いた歴代役員の皆様方に、感謝いたします。

35年の間、社会情勢も大きく変化し、又、昨年来の今までになかった全世界を巻き込んだコロナ禍があり、いまだに続いている。



近畿益田会としても、このコロナ禍で2年連続して会のメインイベントである総会・懇親会を開くことができませんでした。残念でなりません。

この状況の中でも、会として出来ることはないかと考え、毎年の会報の発行を開始し、会員の皆様の声も紙面に掲載し又、“ふるさと益田の応援団”の活動として、田舎の農産物の販売も強化し、益田との繋がりを再認識し、ともに喜んでいただける形を作りつつあります。

さらに、昨年より大阪梅田にて、益田市長との意見交換会を開催し、近畿と益田との交流を開始させていただいている。

2022年2月も益田市長との意見交換会を予定していますので、会場の定員はあるものができるだけ多くの会員の方に、参加していただけるとありがたいです。

又、近畿益田会の2022年の活動も、会員参加の交流会の企画もコロナ禍の心配はあるものの、前向きに進めて行きますので、皆様のご参加、お力添え宜しくお願ひいたします。

近畿益田会の目標は、“会員の方一人一人が、明るく活き活きとした人生のステージのひとつになるよう、この近畿益田会を創りあげること”です。

来年は、”必ず明るい夜明けが来る”ことを信じて前向きに生きてゆきましょう。

苦しい時の中にも、前向きな心があれば、楽しい時が過ごせます。

終わりに、益田市の発展、近畿益田会の発展と会員の皆様のご健勝ご活躍をご祈念申し上げ、35周年記念会報の私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございます。

近畿益田会会长 池野幸雄

”水質日本一とも言われる” 高津川と飯田橋

益田市長挨拶

この度は近畿益田会が創立 35 周年を迎えられ、ここに記念誌が発行されま
すことを心からお祝い申し上げます。

貴会の 35 年の長きに渡る継続と発展は、歴代の会長をはじめ会員の皆様の熱
意とご尽力によるものと深く敬意を表します。

また、近畿益田会の皆様におかれましては、日頃より「ふるさと益田」に対
しまして温かいご支援・ご協力を頂き、厚く御礼を申し上げます。

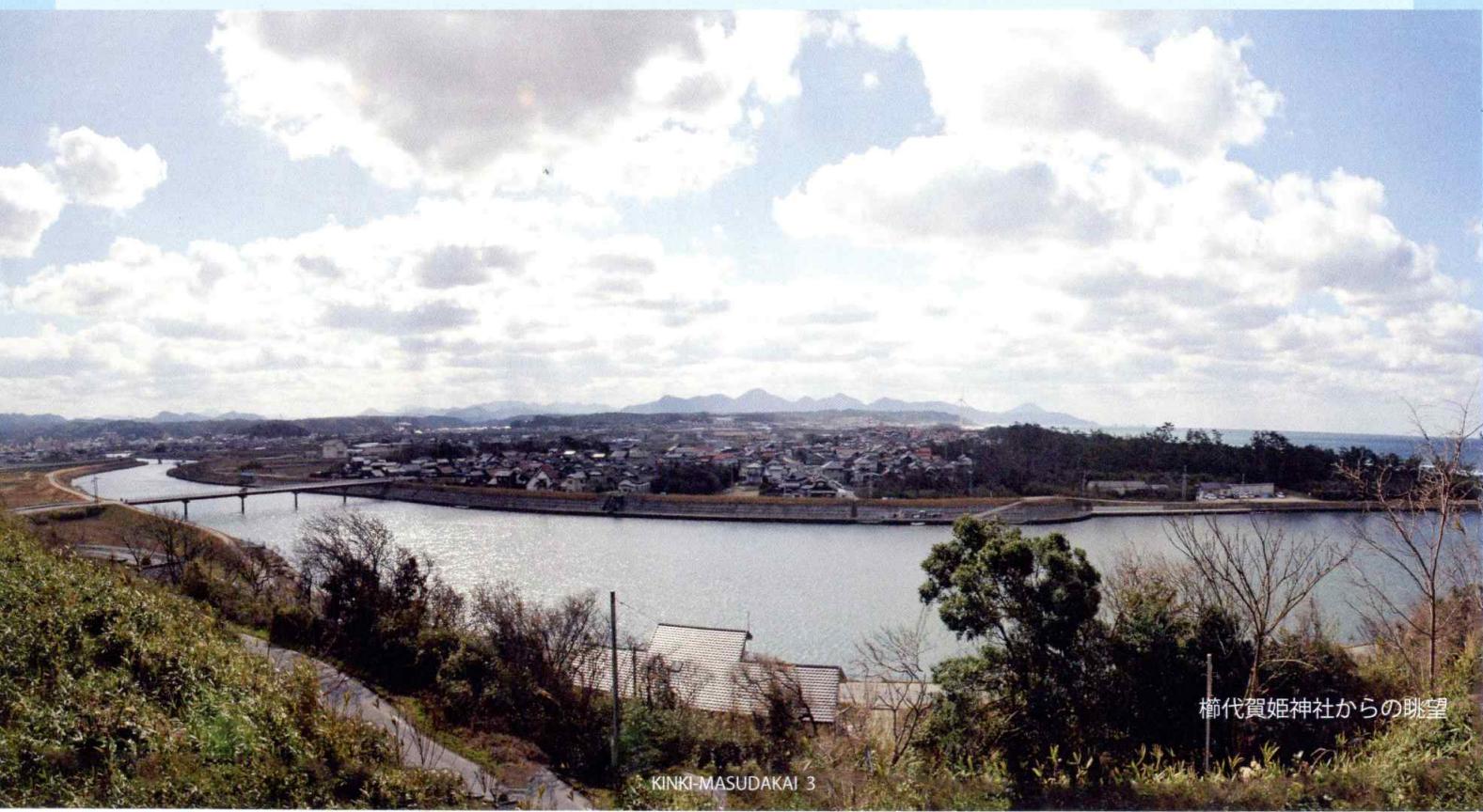
さて、本市においては昨年 6 月の「中世日本の傑作 益田を味わう～地方の時代に輝き再び～」の
日本遺産への登録認定をはじめ、本年 8 月のアイルランドパラリンピック自転車競技選手団の事前キ
ャンプ受入れや、10 月には 2 年ぶりに第 14 回目となる萩・石見空港マラソン全国大会が開催される
など、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な行事やイベントが中止となるなど暗い話題が多
い中で、ふるさと益田にとって追い風となるような明るい話題となりました。

全国的に見ても人口減少や少子高齢化、自然災害の頻発化と激甚化、あるいは情報通信技術の進歩
など本市を取り巻く社会情勢が刻々と変化しています。このような中で、いつまでも住み続けられる
まちをつくっていくために必要なのは「ひと」の力であると考え、平成 28 年 3 月に「益田市ひとづ
くり協働構想」を策定し、あらゆる分野の「ひとづくり」を市の施策の中心に据え、府内連携はもと
より、関係機関などとの協働により取組をすすめてきました。

また、本年 3 月には今後 10 年間の行政運営の指針として「第 6 次益田市総合振興計画」を策定致し
ました。計画の中には益田市の将来像を「ひとが育ち 輝くまち 益田」と定め、これを実現するた
めに 7 つの基本目標を設定しておりますが、中でも「ひとづくり」を施策の中心にして様々な取組を
進めて参りたいと考えております。

末筆ながら、今後とも「ふるさと益田」の発展に一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます
とともに、近畿益田会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念致しまして、35 周年にあたり
ましてのお祝いの言葉とさせていただきます。

益田市長 山本浩章



益田市議会議長挨拶

近畿益田会が創立35周年を迎えられ、ここに記念誌を発行されることを、心からお祝い申し上げます。

近畿益田会の皆さんにおかれましては、平素から「ふるさと益田」に対しましてご支援を賜っておりますことに厚くお礼を申し上げますとともに、貴会及びふるさと益田市の発展のためにご尽力いただきました歴代会長をはじめ、会員各位に深く敬意と感謝を表する次第です。



さて、益田市では、令和2年6月に中世時代の魅力的な歴史が『中世日本の傑作 益田を味わう *地方の時代に輝き再び*』として日本遺産に認定されました。

市議会としましても、皆さまの郷土におけるストーリーが、我が国の文化・伝統を語るものとして全国的に認められたことを大変誇らしく感じております。

中世の時代、益田市は日本の中でもひときわ輝きを放っていました。地方の時代に輝きを再び取り戻すため、環境整備を始めとした各種取組を進めております。

近畿益田会の長きにわたる活動にならい、この取組が末永く続けられることを願っております。

皆さまにおかれましては、今後とも「ふるさと益田」の発展にご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、近畿益田会がより一層の輝きを放ちご発展をされること、併せて皆さま方のご活躍を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶といたします。

益田市議会議長 河野 利文

益田商工会議所会頭挨拶

近畿益田会が、このたび創立35周年を迎えられましたことに対しまして、心よりお慶び申し上げます。



昭和62年9月に会が設立されて以来、これまで35年の長きにわたり、歴代の会長をはじめ、会員の皆様の「ふるさと益田」に対する大変な熱意とご努力に対し、深く敬意を表するとともに感謝いたします。

さて、新型コロナウイルスの発生から今日まで、4度に亘る緊急事態宣言等により近畿益田会の皆様におかれましても、なかなか思うような活動が出来ない状況が続いているものと推察いたしております。そうした中、ワクチン接種が進み感染者数も減少傾向にあり、収束に向け期待されるところでありますが、一方で第6波を懸念する声もあり、当分の間は感染防止対策を取りながらの活動が続くものと思われます。

益田市の状況も長引く新型コロナウイルスの影響により大変厳しい状況が続いていますが、益田商工会議所では「企業と地域の応援団」として、空港利用促進、交流人口・関係人口の拡大、企業経営の安定強化や新産業の創出、そして魅力あるまちづくりの促進などに取り組んでいるところであります、これからも皆様が誇りに思っていただける「ふるさと創り」に、一丸となって懸命に取り組んでまいりますので、更なる応援をお願い致します。

最後になりましたが、この状況が一日も早く改善へ向かいますと共に、近畿益田会の今後ますますのご発展をお祈り致しまして、お祝いのご挨拶と致します。

益田商工会議所会頭 松永和平

島根県人会長挨拶

近畿益田会の皆様、設立35周年誠におめでとうございます。35年前の設立時からここまで、会の維持、運営等、大変なご苦労をなさった事と推察致し、今日が有るのは正に会員の皆様方の団結力の賜物であろうと心から敬意の念を抱きます。



本来なら総会・懇親会が開催され盛大にお祝いをなさるところかと存じ、それが出来ない今年を大変残念に思います。コロナウイルスとの闘いも、もうすぐ2年となります。皆様方には何かとご不便ご不自由でお辛い思いをなさった事とお見舞い申し上げます。

さて、この度近畿島根県人会会長をお引き受けする事となりました。どうかお見知りおき頂き、一層の県人会活動へのご支援ご協力を賜ります様何卒よろしくお願ひを申し上げます。

また、その初めてのご挨拶が設立35周年の近畿益田会となりました事も何かのご縁かと嬉しく思っています。

各市町村人会の中でも特に近畿益田会はまとまりの良い会と伺っております。

来年こそ皆様にお目にかかるてご一緒に賑やかで楽しいひと時が過ごせる事を心待ちにしています。近畿益田会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶とさせて頂きます。おめでとうございます。

島根県人会会長 千家敬磨

近畿益田会の誕生は石見空港開港から

昭和62年に、当時の神崎市長より、昭和68（平成5年）開港に向けて建設が認められた石見空港のプロジェクトが動き出したことから、東京、大阪と地元との交流を活発にしたいとの要請から各地区の益田会が誕生いたしました。



初代会長 山田孝一

近畿益田会の記念の発刊名簿の冒頭の山田会長挨拶文には、次のような記載がありました。

5周年：『益田に「石見空港」を合言葉に発足しました近畿益田会は・・・』

10周年：『平成5年7月2日に念願の石見空港の開港となり、益田と大阪が1時間で結ばれることとなりました。この空港を拠点にして益田市が発展するべく関係者は努力を重ねておられます。

当会としましても故郷益田へ大いに協力を推進する所存です。・・・』

その日の開港1番機で山田会長始め当時の役員が勇躍地元を訪れ、空港にほど近い、「丸反」で近畿益田会の現地総会を開催いたしました。

つまり、益田会の生みの親こそ今の「萩石見空港」だったのです。

特集

益田市のあゆみと 近畿益田会の35年



益田市市章



近畿益田会会章



益田市のあゆみと近畿益田会の35年

歴代益田市長

伊藤正男（2期） 島田暉山（3期）

神崎治一郎（4期）

渋谷義人（1期）

益田市政施行

1952

島根県立万葉公園開園

1982

雪舟の郷記念館開館

1990

萩・石見空港開港

1993



益田市中心部

1987

近畿益田会設立



近畿益田会第1回総会

1994

阪神淡路大震災

1995

関西国際空港開港

山田孝一（初代会長）

歴代近畿益田会会長



益田市制施行



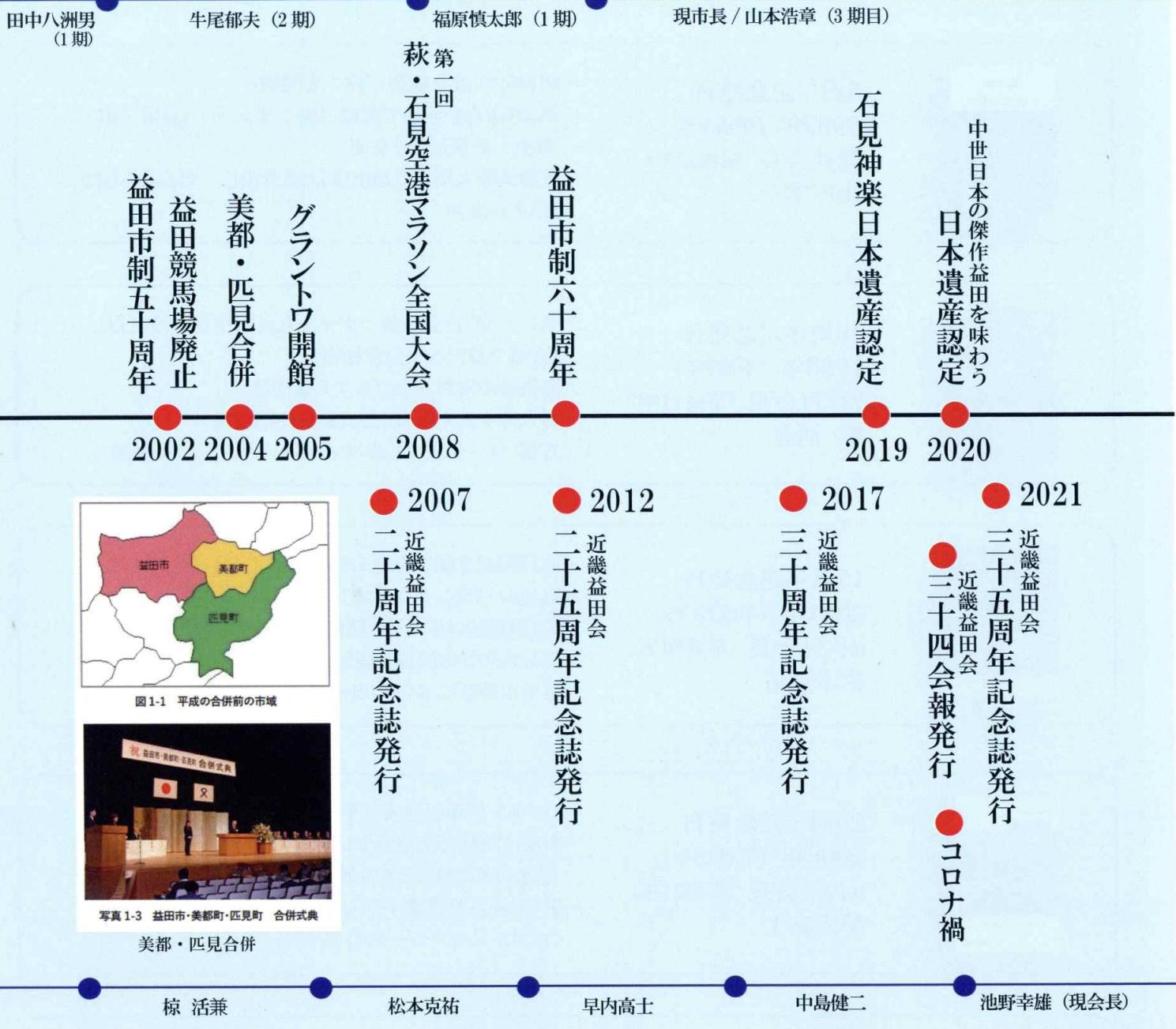
県立万葉公園



雪舟記念館



萩・石見空港開港



益田競馬場



グラントワ開館



萩・石見空港マラソン



”中世日本の傑作益田を味わう” 日本遺産認定



石見神楽日本遺産認定



益田市のおゆみと近畿益田会の35年



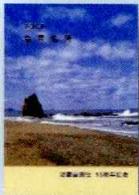
5周年記念発刊
1992年（平成4年）
初代会長（昭和62年）
山田孝一

- ・昭和62年設立総会（於：太閤園）
- ・第3回総会を地元で開催（於：サンパレス益田）市・議会・商議所等と交流
- ・阪神淡路大震災に益田市より炊き出し、当会からも役員5名が参加



10周年記念発刊
1995年（平成7年）
2代目会長（平成11年）
椋 活兼

- ・第7回定期総会（於：ホテル丸反）空港開港により、1番機で益田へ（記念植樹）
- ・島根県市町村人会ゴルフ大会優勝
- ・婦人部主催の第1回会員旅行美都温泉へ
- ・万葉フォーラム「人麻呂フェスティバル」に27参加



15周年記念発刊
2001年（平成13年）
3代目会長（平成16年）
松本克祐

- ・第15回記念総会を地元開催（於：三好屋）
- ・第1回ハイキング（平成14年3月）
- ・第1回親睦ゴルフ大会開催（平成17年7月）
- ・アムスメロンの斡旋販売始まる
- ・益田水郷祭に本会20周年記念花火協賛



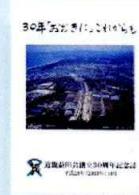
20周年記念発刊
2006年（平成18年）
4代目会長（平成21年）
早内高士

- ・ハイキング50回達成（平成19年10月）
- ・高槻市姉妹都市交流センターオープン（平成20年4月）記念式典に役員5名参加
- ・第1回萩石見空港マラソンに協賛
- ・会のホームページ一般公開



25周年記念発刊
2011年（平成23年）
5代目会長（平成26年）
中島健二

- ・市制60周年記念事業に早内会長出席
- ・益田市と各地区益田会意見交換会参加
- ・姉妹都市高槻まつりに益田市から来高コラボ
- ・30周年記念事業として人材育成資金に30万円寄付



30周年記念発刊
2016年（平成28年）
6代目会長（平成31年）
池野幸雄

- ・第55回近畿島根県人会、中島会長が実行委員長で開催
- ・市長来阪時に意見交換会を初めて開催
- ・ハイキング部200回、ゴルフ部30回開催をそれぞれ達成
- ・新型コロナ感染拡大により、第34回総会中止



近畿益田会
KINKI-MASUDAKAI



第15回記念総会を益田市にて開催（三好家旅館）



第1回近畿益田会総会



阪神大震災、益田市炊き出しに益田会役員5名コラボ



益田市制60周年行事早内会長出席



益田商工会議所青年部との交流会（2010年）



第25回益田会記念総会にて澄川喜一氏講演
(文化勲章受章・元東京芸大学長・現グラントワセンター長)



表四見峠スタート地点（出發式）
参加者 36名



近畿益田会 広報部作成



近畿益田会ハイキング部 5益田 交流会

出席者 31名



美都温泉「湯元館」にて

みと自然の森 宿泊者 24名

近畿益田会ハイキング部が匹見にて開催及び益田市との交流会



山本益田市長との意見交換会（大阪梅田グランフロント）

特集

近畿で活躍する 益田人たち!!

益田地域出身の方で、近畿で活躍している人に
スポットを当てご紹介させていただきました。

檜谷 進

(ひのきだに すすむ)

生年月日：1949年（昭和24年）

出身地：益田市匹見町

出身校：島根県立益田工業高校（現：島根県立益田翔陽高等学校）

仕事：食品の卸業と飲食店の経営

阪神食品㈱、フロンティア・フーズ20㈱、大元氣㈱の代表取締役会長。

個室居酒屋 6年4組 / 元祖343鮓 / 割烹焼肉 松永牧場 / 堺筋本町給油所
西梅田ワイン酒場 / 山陰浜田漁港

信条・好きな言葉

”今やらねばいつできる俺がやらねば誰がやる”
ふるさと益田への想い

故郷益田への想いは童謡「ふるさと」の歌詞の中に凝縮されています。犬を連れてうさぎを追いかけた七尾山、鮒を手づかみした益田川、今は亡き父母、元気な友も一人二人といなくなり、志を果たして遂げたのか遂げればいつの日か帰らん。

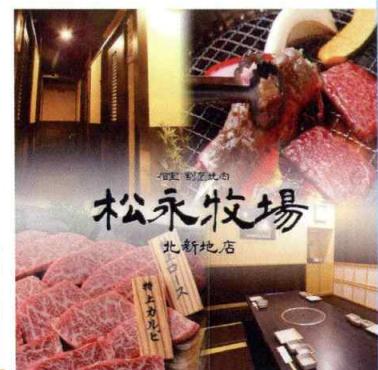
何年たとうとも山はいつまでも青く水は清き故郷。この歌詞のような益田をしみじみと想い出すことができる年齢になりました。これから何ができるのか残りの人生を益田で過ごし「儲かる農業」を実践したいと秘策を練っています。美味しい益田の一次産品を萩・石見空港を活用して日本中いや世界中に届ける事が大阪で食品産業に50年間携わった者の努めかなと思い始めています。夢を想像して地球環境に貢献する、そんな大望を生まれ故郷で実現すべく人生100年時代に挑戦したいと考えています。

農業に挑戦するに当たり新しい言葉を想像しました。

農業の師匠をこれからは皆さんで「農師」と呼びませんか、漁師・獵師はありますが農師とはこれまで誰も言いませんでした。立派な農業の師匠です。

農師心得

“町づくりは土づくり土づくりは人づくり”





波佐本麻里

(吉田麻里)

(はさもと まり)

生年月日 非公開
 出身地域 益田市東町（旧門前町）
 卒業校 益田高校
 仕事 民謡「安来節」の師範。
 映画の役者。
 セミナー講師
 (ビジネスマナー・営業ノウハウ、生活習慣等)
 その他よろず承ります。
[ホームページ https://rimatomosaha.wixsite.com/website](https://rimatomosaha.wixsite.com/website)
 「波佐本麻里」はビジネスネームです。

30年勤務した会社を早期退職し、セカンドライフに安来節の師範と映画の役者やエキストラを楽しんでいます。
 管理職時代の社員研修経験を活かしビジネスマナーや営業セミナーの講師もしています。
 業績手当を使わず貯金して一億円になった記念に本を書きました。
 お金はあってもなくても質素に生活するのが好きで、今はとても充実した毎日を忙しく過ごしています。



信条・好きな言葉 “人生は一度きり、悔いのない日々を過ごしたい”

ふるさと益田への想い

子供の頃は益田が嫌で、脱出計画を立てて大阪へ出てきました。
 全く帰らないどころか連絡不通の時期もあり、益田以外で生きた時間の方が多くなりました。しかし生まれたのは益田であり、切れない縁があります。
 親戚家族も少なくなってきましたが、時間にゆとりができるようになりましたので、行き来ができればと思っています。



フリーターからでも一億円貯められる
お金の使い方・仕事の仕方

—貯まる人生のヒントが満載
大学時代から益田を離れて京都で生活していたら、貯金が一億円になりました。

波佐本 麻里 (はさもと まり)

早内高士

(はやうち たかし)

1941 (昭和16年) 5月8日

出身地域 益田市横田町上野

卒業校 同志社大学社会学部新文学専攻

大学卒業後、京都新聞に入社。社会部、運動部、文化部、政経部記者を経て、運動部長、編集局次長、編集委員・論説委員を兼務。退職後もフリーライターとして新聞、雑誌などに執筆活動
 日本ペンクラブ会員、日本旅のペンクラブ理事。主な著書に「おはようおかえりやす」「織ひとすじ千年の技」「新撰組見聞録」など多数。「隨筆きょうと」主宰。

硫黄島で玉碎した父の故郷、益田市で生まれ育ち、中学1年夏から高校卒業までの思春期を長崎市で過ごし、以後京都で生活していましたが、早くに生まれた故郷を離れたので、故郷への想いが人一倍強いのかと思います。近畿益田会にも設立後まもなくから参加、昔懐かしい石見神楽や益田弁の会話を楽しみにしてきました。

信条・好きな言葉

“この道より進む道無し、我、この道を行く” (武者小路実篤)

さほど机上の勉強はしなくとも、小学生時代に好きな道を目指せば、さほど努力をしなくても人生の目標は達成できます。私たち戦後世代の幼なじみは、中学を卒業後、大阪や広島などに就職してそれぞれが充実した人生を送っていました。

ふるさと益田への想い

中学時代にふるさと益田を離れただけに、ふるさとへの想いは人一倍強く持って人生を駆け抜けてきました。齢80歳。人生百年時代を迎えて、もう少しだけ老いの青春を謳歌して、遠くに青野山を臨み、間近に高津川や山口線の走る上野の丘の墓地から故郷の野山を眺めながら幼子に返って、野山を駆け巡るのを楽しみにしています。





寺井克政

(てらい かつまさ)

1950年（昭和25年）3月
益田中学校3年時から関西に転校
関西の高校から大学進学したが2年生の時にロスに、2年6ヶ月アメリカで暮らし、帰国後大手素材メーカーに就職。
26歳の時にその素材を使う企業を立ち上げ、㈱テライを誕生させ、社業一筋に今日に至る。

信条・好きな言葉

陽明学で教わった”事上磨鍊”
事にあたりながら、己を磨くことです。

国家褒章を受章
令和2年度、令和3年度連続で紺綏褒章を受章しました。
年度を跨ぎ今年ダブル受賞です。



企業PR

地球にやさしく、環境にやさしく、人にやさしく、をキャッチフレーズに、食品、衣料、家庭用、業務用をはじめ、さまざまな分野に対し、まさに時代にマッチした地球環境に優しい袋製品を製造しています。また、拠点を、起業の地である大阪をはじめ、ふるさと益田にも各2工場展開し、ベトナム、中国にまで業容の拡大を進めております。

国内130人、海外300人の従業員を抱える企業に成長し、世界に目を向けながらも、地元の発展に尽くすことにも意を注いで更なる発展を求めております。

ふるさと益田への想い

工場を益田市に2か所持ち、地元の雇用の創出、経済的な寄与等々大阪と地元を頻繁に移動する日々で、ふるさとが活動の場そのもので、地元への寄付やイベントの協賛など積極的に取り組んでおります。

趣味：釣り（萩沖見島に愛船を停留、かつては松方弘樹氏とも一緒に）
：ゴルフ（直近の益田会コンペでエージュート2回目達成）



中島健二

(なかしま けんじ)

1948年（昭和23年）1月1日
益田市戸田町
益田市立小野中学校

中学校卒業と同時に大阪のダイハツ工業（株）に入社、48年間勤務し、この間、国家検定1級<鋳造鋳物木型制作>を取得し、技能オリンピック大阪府代表として出場しました。その後、箕面市議会議員、大阪府議会議員を20年間つとめ、2018年に叙勲で旭日双光章を受賞し身に余る光栄と感謝しています。

近畿益田会の会長として5年間会員や役員の皆様方とふるさと益田の架け橋として活動させていただき、現在は箕面市体育連盟の会長として、スポーツ関係19協会のお世話をするとほか、多くのボランティア活動にも参画し元気に体を動かし、地域の仲間とカラオケやゴルフも楽しんでいます。

信条・好きな言葉

”艱難汝を玉にす” “温故知新”

人間は苦労を重ねる体験が必要であると同時に、実践においては、古きをたずねて新しきを知ることを常々教訓としています。

ふるさと益田への想い

ふるさと益田がもっともっと発展してほしいと思っています。

益田は自然豊かで、人情味溢れ、心の通う豊かな人間関係は、私たちの誇りです。この益田で少年期を過ごした思いは、今でも脳裏に焼き付いています。

私の生まれ育った小野の戸田柿本神社が令和5年には1300年式大祭を迎えます。その時には、是非帰郷したいと思っています。



益田市の姉妹都市

姉妹都市：高槻市（大阪府）

昭和46年に旧匹見町との間で姉妹都市提携平成16年の市町村合併で市として引き継ぎ、高槻市のもう一つの姉妹都市若狭市と共に交流を続けております。



たかつき & こどもジョイントコンサート



高槻市ホームページより
第47回高槻まつり（2016年8月）

主な交流実績

- ・市民親善訪問
- ・英語サマー・キャンプ
- ・匹見中学校神楽団来訪
- ・農林業祭交流団来訪
- ・マラソン交流
- ・姉妹都市交流センターでの交流
- ・高槻の森・車両提供など

※高槻市観光交流協会ホームページより



高槻うまいもん祭り
若狭町と共に
(2018年4月)



石見神楽



高槻市姉妹都市 福井県若狭町・島根県益田市
うまいもん盛りだくさん市 9/28 9/29 in イオン高槻

和太鼓演奏 ①11:00～、②14:00～
五湖鶴太鼓 演目：「福井の魔人」ほか

石見神楽上演 ①11:00～、②14:00～
演目：「大蛇」(丸茂神楽団)

【お楽しみガラポン抽選会】
抽選会参加料：1,000円以上購入の方に若狭町・益田市の特産品が当たる!
28日(土)・29日(日)
両日開催!!

日時 9月28日(土) 10:00～18:00
9月29日(日) 10:00～17:00

場所 イオン高槻店 1F スタジアムコート

内容 若狭町と益田市の特産品の販売

主催：高槻市姉妹都市交流センター運営協議会(福井県若狭町・島根県益田市) 協力：高槻市

本市の姉妹都市である益田市を愛する「近畿益田会」が創立三十五周年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。

皆様方が近畿一円で、「ふるさと益田」の応援団としてご活躍いただいておりますことを大変嬉しく思います。

本市と益田市とが姉妹都市提携を行って以来、本市での姉妹都市交流の拠点である「姉妹都市交流センター」での観光情報の発信、「うまいもん盛りだくさん市」での特産品の展示販売、「高槻まつり」での子ども石見神楽の上演など、行政間交流はもとより、産業・文化・スポーツ・教育など幅広い分野での市民間交流を通じて、友好と信頼関係が醸成されてまいりました。

本市といたしましては、今まで培われた姉妹都市交流の輪と友好の絆がより一層深まるよう引き続き、全力で取り組んでまいりますので、皆様方におかれましては、今後とも本市と益田市の友好交流に一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、近畿益田会の更なるご発展と、皆様方の益々のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

高槻市

・友好都市紹介

友好都市：豊中市（大阪府）

豊中市と平成 25 年 7 月に「空港で結ぶ友好都市協定」が締結されました。



主な交流事業

- 平成 27 年度に伝統芸能館で石見神楽公演
- 平成 29 年度に文化芸術センターで石見神楽公演
- 平成 30 年度にアクア文化ホールで石見神楽公演
- 平成 29 年度に庄内公民館で益田市の郷土料理講座実施
- 「豊中市農業祭」に令和元年度までに 8 年連続で物産ブース出展
- 令和元年度に「空港フェスタ 2019」に物産ブース出展



空港フェスタ 2015

このたびは、近畿益田会の結成 35 周年に際し、お慶び申し上げます。

例年、夏季には萩・石見空港と大阪国際空港を結ぶ航空路線が運航されます。

飛行機でつながる益田市と本市は、平成 25 年 7 月に「空港で結ぶ友好都市提携に関する協定」及び「災害時の相互応援に関する協定」を締結いたしました。

平成 27 年度に益田市との共催で本市において初めて開催した石見神楽の舞の公演は大変好評で、規模を拡大して平成 29 年度及び 30 年度にも開催し、多くの市民が益田市の文化に親しむことができました。

また、豊中市の農業祭や大阪国際空港で開催する空港フェスタに物産ブースを出店していただくなど、交流事業の幅も広げてまいりました。

平成 30 年の大震北地震の際には、見舞金及び義援金をご寄贈いただき、元気と勇気をいただいたこと、改めて感謝申し上げます。

今後とも、飛行機でつながる両市の友好関係の広がりを切に願っております。

最後に、益田市と本市のさらなる関係性の発展とともに、近畿益田会のさらなるご盛況を祈念いたします。

豊中市

益田市の姉妹都市・友好都市紹介

文化スポーツ交流都市：川崎市（神奈川県）

平成20年度、川崎市との間で、スポーツ交流事業が始まりました。そして、平成25年7月には、川崎市と文化、スポーツ等の交流に関する覚書も締結されました。



（空港での出発式の模様）



初年度は小学生サッカー選手を派遣、翌年からは派遣と受け入れを継続し、いろんな競技種目で10年以上継続してきており、萩石見空港の利用促進にも寄与しています。

高槻市が取り持つ若狭町との交流：若狭町（福井県）

高槻市と姉妹都市関係にある若狭町と3市町で姉妹都市サミットを開催しています。平成25年には高槻市、若狭町とで災害時相互応援協定を締結しました。



（平成27年10月の高槻市でのサミット）

”山陰のモンサンミッシェル”

朝日新聞8月1日関西版に掲載！



益田市小浜町の
衣毘須神社（えびす）
が朝日新聞8月1日
関西版、『日本でも
海外気分』の特集で
紹介されました。

衣毘須神社がある宮
ヶ島です。
潮が引いている時現
れる砂浜が参道です。
大潮の時は参道が消
えて渡れなくなりま
す。



東京オリ・パラのアイルランド自転車チームが快挙

100ZERO の町、益田市が東京オリ・パラで誘致したアイル
ランド自転車チームが金メダル2個、銀メダル1個、銅メダル
1個の快挙をあげました。



経緯

- 平成28年11月に自転車チーム誘致推進委員会がキックオフ
- 平成30年8月にアイルランドのホストタウンに決定
- 新型コロナのパンデミックにより糾余曲折はあったものの、
1年延期された東京大会でパラチームの事前合宿が実現し、
市民の支援応援に見事に応える大活躍



金メダル 2 個、銀メダル 1 個、銅メダル 1 個



近畿益田会 ハイキング部

始めての方も大歓迎です。
ハイキング参加者募集!
参加希望の方は事務局までご連絡ください。

ハイキング部の活動

近畿益田会ハイキング部は、令和3年8月河内長野市「滝畠ダム」へのハイキングで210回を数えました。

振り返ると第1回ハイキングは、平成14年3月24日（日）の京都大文字山（466m）でした。天候晴、参加者は大谷 誠夫妻、金地八千代、島田 洋、世良重喜、西田弥生夫妻、早内高士、藤原 辨夫妻、松本克祐、椋 活兼夫妻、椋木スミエ、森川秀美（敬称略）ほかに名前不詳2名 計17名でした。

JR 山科駅10時スタート、京阪山科駅を通り山裾の毘沙門堂で自己紹介、準備体操のあと川沿いの道から山道に入りました。ゆるやかな登りが途中から急な登りになり、さらに尾根を登ると大文字山山頂、五山の送り火の火床へ、眼下に京都の街並みが広がり送り火のうちの残り4つも一望できました。息を整えて昼食をすませ下りは銀閣寺へ、そして哲学の道を歩き南禅寺へ、京阪蹴上駅で解散というコースでした。

そしてついに今回210回目を迎えるました。8月7日（土）天候 晴、参加者11名。河内長野市の滝畠ダムの二つの滝を歩いてきました。これまで10回ごとに一泊してハイキングを楽しんできましたが、今回はコロナの関係で取り止めとしました。

次回211回から当面220回に向けて新たな一步を歩みだすことになります。コロナがなかなか収まらない状況ではありますが、3密に十分注意してこれからも歩き続けたいと思います。

（近畿益田会ホームページには各回の掲載が載っておりますので、詳しく見たい方はそちらをご覧ください）

ハイキング部部長 椋 活兼

第188回 2019年	6月 8日	19名	渡船に乗って舞洲へ
第189回 2019年	7月 6日	20名	琵琶湖畔を歩く
第190回 2019年	8月 4日	24名	ふるさと益田を歩く（一泊）
第191回 2019年	9月 7日	7名	愛宕山に登る
第192回 2019年	10月 5日	16名	彼岸花咲く山の辺の道
第193回 2019年	11月 2日	20名	府民の森・ほしだ園地と星のブランコ
第194回 2019年	12月 1日	15名	八尾空港と八尾の史跡を訪ねて
第195回 2020年	1月 11日	20名	神戸八社で厄除祈願
第196回 2020年	2月 1日	20名	野間の大ケヤキ
第197回 2020年	3月 29日	4名	醍醐寺の観桜ウォーク
第198回 2020年	7月 5日	12名	涼を求めて宇治川を歩く
第199回 2020年	8月 1日	11名	松尾大社・鈴虫寺から東海自然歩道を歩く
第200回 2020年	9月 6日	16名	有馬富士に登って有馬へ（一泊）
第201回 2020年	10月 3日	19名	天の香具山から藤原京跡へ
第202回 2020年	11月 1日	22名	甘南備山と一休寺の紅葉
第203回 2021年	1月 17日	8名	伊丹七福神を歩く
第204回 2021年	2月 6日	11名	上町台地の史跡とコリアタウンを歩く
第205回 2021年	3月 10日	12名	追分梅林と大和民族博物館
第206回 2021年	4月 3日	12名	岡崎川の桜と安堵の田園風景を歩く
第207回 2021年	5月 15日	7名	五色塚古墳から舞子浜へ
第208回 2021年	6月 5日	9名	柳生街道を歩く
第209回 2021年	7月 18日	8名	琵琶湖のパワースポット白髭神社へ
第210回 2021年	8月 7日	11名	滝畠四十八滝巡り
第211回 2021年	9月 5日	8名	神戸空港ウォーク



			
第188回 2019年6月8日	第189回 2019年7月6日	第190回 2019年8月4日	第191回 2019年9月7日
			
第192回 2019年10月5日	第193回 2019年11月2日	第194回 2019年12月1日	第195回 2020年1月11日
			
第196回 2020年2月1日	第197回 2020年3月29日	第198回 2020年7月5日	第199回 2020年8月1日
			
第200回 2020年9月6日	第201回 2020年10月3日	第202回 2020年11月1日	第203回 2021年1月17日
			
第204回 2021年2月6日	第205回 2021年3月10日	第206回 2021年4月3日	第207回 2021年5月15日
			
第208回 2021年6月5日	第209回 2021年7月18日	第210回 2021年8月7日	第211回 2021年9月5日

近畿益田会 ゴルフ部

ゴルフ参加者募集！
参加希望の方は事務局までご連絡ください。

2005年（平成17年）7月に第1回大会を開催、その後、春夏の年2回開催を続け、今年の春に第32回の大会を実施しました。コンペの名称は、オーガスタナショナルで開催の「マスターズオープン」に語呂合わせで「マスターイズオープン」と銘打って回を重ねてきております。

第1回のコンペで、当時の益田市大阪事務所長猪俣さんから特大の優勝カップが寄贈され、優勝者で持ち回りされております。大会の会場は、優勝者が選定し、近畿一円のコースを巡っております。近年ゴルフ人口の減少が著しく、部会の会員も全盛時から減少傾向が続いておりまして、近年は3組から4組のコンペとなっております。大会風景の写真を何点かピックアップしてみました。

第1回大会

開催年月日：2005年7月8日
開催場所：宇治田原カントリー倶楽部
優勝者：三浦 史



第10回大会

開催年月日：2009年11月11日
開催場所：宇治田原カントリー倶楽部
優勝者：猪俣 悅幸



第20回記念大会

開催年月日：2014年11月6日（木）
開催場所：六甲カントリー倶楽部
参加者：18名
優勝者：高城 慎三



30回大会優勝カップ授与
中島前会長から中島義正さんへ

【島根県人会ゴルフ大会での優勝】

15周年名簿の中の会の歩みで、島根県人会ゴルフ大会で優勝したとの記載がありました。益田会のコンペがスタートするかなり以前の、平成7年11月14日開催の第6回大会で優勝達成のことです。

当時会長他2組参加した内の一組が優勝したそうです。

近畿益田会ゴルフコンペ発足当時の思い出（猪俣さん寄稿）

私は51歳の時に大阪事務所に転勤、大阪勤務が始まりました。転勤間もない頃に島根神戸県人会のゴルフコンペに参加し、優勝しました。その頃は近畿益田会にはゴルフをされる方はおられても、コンペはありませんでした。

そこで、県人会でいただいた優勝カップのプレートを作り直し、益田会に寄付しました。

そして、第1回近畿益田会ゴルフコンペを開催したのです。これが益田会ゴルフコンペの始まりです。

余談ではありますが、今は妻の故郷で週1回ゴルフを楽しんでおりまして、最近ホールインワンを2回達成しました。今の目標はエイジショットです。

八十歳になりますが、大好きなゴルフは私の元気の源です。（第1回大会前列左から3人目が猪俣安弘さん）

第1回美味しいもの会

2022年開催予定

近畿益田会会員及び会員様御同伴限定企画

日程が決まり次第『益田会だより』にてお知らせいたします。

近畿益田会
KINKI-MASUDAKAI

ふるさと納税の応援団

第1回美味しいもの会

益田が誇る『松永牧場』の 焼肉を堪能する!!

会員・会員ご同伴様限定

益田会
スペシャル
焼肉コース
飲放題付き

ゲスト・株式会社松永牧場 社長 松永和平

島根県益田市にある松永牧場は、牛、安心、環境、地域、食について独自の取り組みを行っております。
松永牧場でしかできない肉を作るために、どれも大切なものです。
スタッフ全員が心を揃えて取り組んでいます。

割烹焼肉 松永牧場

大阪府 大阪市北区 堂島浜 1-3-16 アックス堂島ビル 3F
交通手段 050-5868-3957
JR東西線北新地駅 徒歩5分
JR大阪駅 徒歩10分
阪神本線梅田駅 徒歩8分
阪急線梅田駅 徒歩15分
大江橋駅から231m

お一人様 / 6,000 円
定員 / 30 名(先着順)

2022年 開催予定
開場 17:30 Start/18:00~ Close/20:00



益田の魅力発見

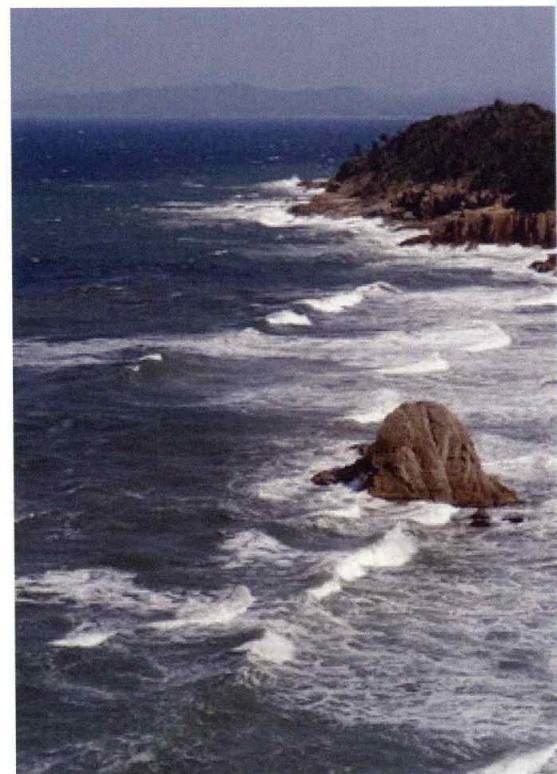
隠れた絶景スポット



島根県西部、

都茂鉱山跡

益田市観光公式サイトより



人形峠より日本海を望む
益田市の歴史・風景体験レビューより

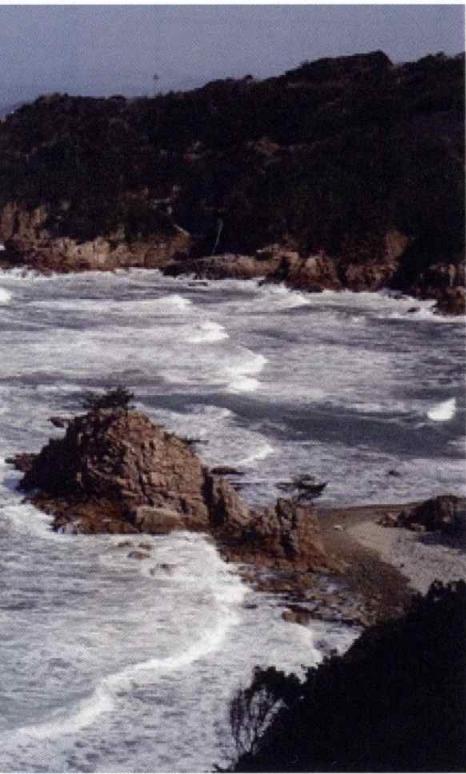


權現山からの夜景

益田市を盛り上げて行こう！ 原 誠 様 撮影

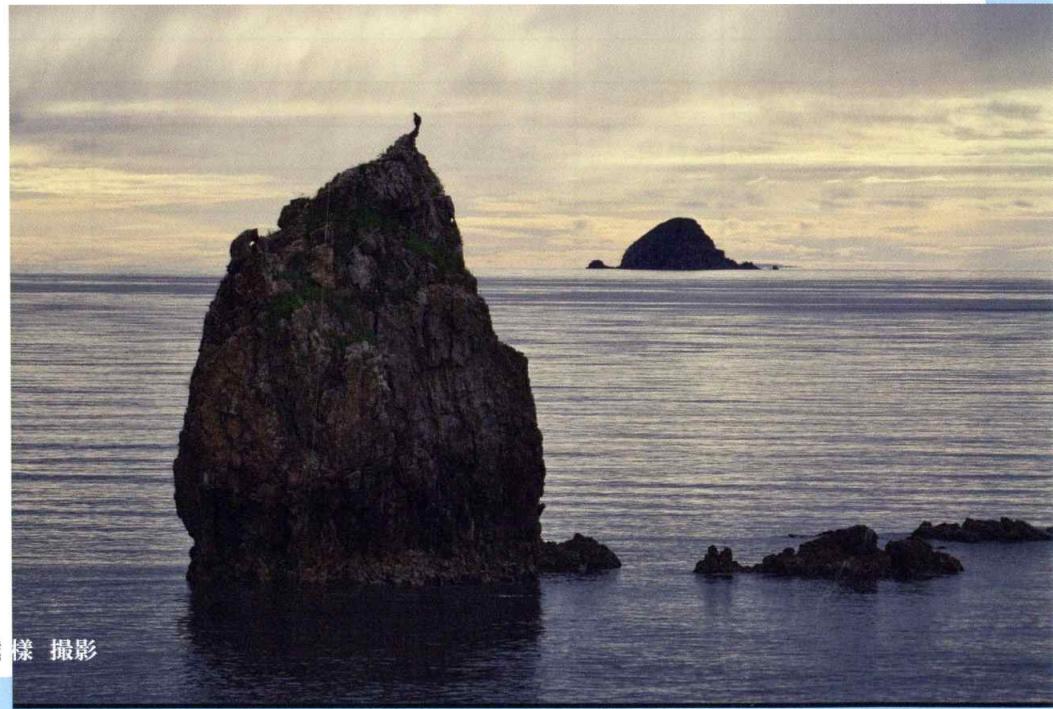


裏匹見狭



三里が浜からの夕焼け

島根県西部、益田市を盛り上げて行こう！ 原 誠 様 撮影



益田市歌

明日をむかえるまち

谷上奏昭：作詞
寺嶋隆也：作曲

A musical score for the city song of Matsue (益田市歌). The score is in G major and 90 BPM. It features five staves of music with lyrics written below each note. The lyrics are: あさく もやひうに けゆは むれし るり かやと こまう うのやなほ 二 みしる はきは まーる べしか にのな うかつ おき ぶがに 二 こかい ふわさ ねもり をなうと が一 ぬる しゆう おさう のせくれ かかず かやか にくに なみふ みずも おさと とてを きくつ 二 くむ 一 おさゆ だわる やかか ななな ひかりの ななかに きのうと が 一 おなじる じるる ままま ちらら ががが あああ る 一 あ すをむかえる ますだがある 一

編集後記

コロナに明け暮れ翻弄され続けたこの2年、会のメインイベントの総会での神楽が見られないことに、多くの会員の方々が寂しさを覚えておられることは、近況報告等で伺い知ることができました。

折しも今年35年の節目を迎え、対面での活動がままならない中でも、記念誌の作成だけは取り組みたいとのことで、ここに、何とか出来上がりました。

編集にあたりましては、地元観光交流課のご担当はじめ、ご関係の皆様のご支援ご助力の賜物と厚く御礼申し上げます。

また、メッセージはじめ、活躍する益田人企画等々、ご寄稿いただいた皆様にも厚く御礼申し上げます。

加えて、当会の活動の多くの記録を広く開示するホームページに掲載、蓄積し続けてきた広報部長の継続的な努力により、必要な資料や画像が貴重な素材として活用できました。

まさに、継続は力といえると思います。

当会も近年高齢化が進み、会員が減少傾向にありますが、次の節目に向けて、地道な活動を継続することの大切さを念頭に、皆様と共に取り組んで参りたいと思っております。

なお、対面活動が制約される中で、記念誌作成に並行して紙上抽選会を行いましたが、会長、阪神食品檜谷当会副会長、神戸クルーズ寺井幹雄当会理事からご協賛いただいたことを、この欄を借りて御礼申し上げます。

35周年記念誌編集委員会 一同
近畿益田会事務局長 高城慎三



近畿益田会

トップページ

会長よりご挨拶

近畿益田会の活動

近畿益田会たより

ふるさと益田便り

益田関連ニュース

定時総会・懇親会

会則及び会計規範

個人情報の取扱い

事務局よりお知らせ

益田市の紹介

益田のイベント紹介

益田市の景観情報

フォトギャラリー

益田会 役員専用

益田会 会員専用

部活動の紹介

ハイキング部

ハイキング部専用

ゴルフ部

ゴルフ部会員専用

婦人部

お問い合わせ



益田市

まちの後楽園里
ますだで暮らそう!

益川市観光協会

近畿益田会事務局

〒617-0828

長岡京市馬場見場走り 15-1 シャリエ長岡京 303

TEL/FAX 075-956-6103

shin3taka46@gmail.com

紺碧の海と歴史の町へご案内する

萩・石見空港

萩・石見空港は島根県の西端
益田市にあります。益田市は
日本一の清流高津川が日本海
へ注ぐ自然豊かな町で、歌聖柿
本人磨や画聖雪舟が暮らした
文化の町としても有名です。



近畿益田会はふるさと益田の応援団

近畿益田会のホームページへようこそ

近畿益田会のホームページにアクセスいただきありがとうございます。
この会は近畿地方に在住する島根県益田市出身者及びその家族、益田
ファンの方々も含めた「益田大好き人間」の集うステージです。

生まれ育ったふるさとを想う人、主人のふるさと、奥様のふるさと、友
人のふるさと、「益田」に惹（ひ）かれた人たちの益田市大応援団でも
あります。

関西で生活しながら、益田市の発展に少しでも貢献できたらと思って多
彩な活動をしています。世代を超えた楽しい集いにして行きたいと思っ
ていますので、ぜひご入会いただき、ハイキング部会やゴルフ部会、旅
行や益田市との交流、観光キャンペーンなどご参加下さい。

会員皆さんのご意見やご提案もどしどしお寄せ下さい。ありがとうございました。

会員募集

益田市出身者で関西にお住まいの方、及び縁故者の方の会員を募集して
おります。是非ご入会して頂きたくお願い申し上げます。

ご入会お申し込み、お問い合わせはこちらから

トピックス

企業広告欄



株式会社 テライ

防災システムに関する
設計・施工・保守点検を
トータルサポート

株式会社 カケハシ



自然と人との共生をめざして



近畿益田会ホームページ

www.cy-net.co.jp/kinkimasudakai/

